


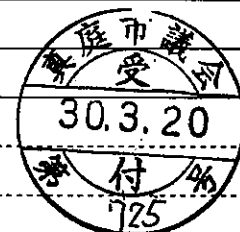
平成30年3月20日

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 古南 源二 

開催日時	平成30年1月26日(金) 19:00 ~ 20:55		
開催学区名	美川小学校区		
会場名	関コミュニティハウス		
出席議員	班長: 古南 源二 副班長: 中元 唯資		
	班員: 緒形 尚 河部 辰夫 谷本 彰良 築澤 敏夫		
参加人数	22人 (うち議員 6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	防災無線について、停電時に連絡ができないことがあったが、今後どうなるのか。	新たな機械は、停電時でも使用ができラジオ放送も聴くことができる。市内無料サービスは廃止する。	
質問	防災無線の屋外設置場所について、山に響いて聞きとりにくい、設置場所を増やす予定はあるのか。	屋外設置場所については、説明会で詳しく聞いてほしい。	
要望	自主防災組織に、若者を巻き込んでいく取り組みをしてほしい。	真庭高校が、まちづくり構想の中で防災に取り組んで地域活性化に繋がっている。活動が評価され表彰も受けている。	
要望	防災士取得講習会を、真庭市単独で開催できないか。	議会でも考えてみますし、担当課にも要望していく。	
要望	別所小学校に設置しているAEDを、くまの館に移設できないか。	初めて聞いたので確認する。津田コミュニティハウスに移設した経緯もあるので良い返事ができると思う。	後日回答する
要望	道路の新設・改良について、工事の時期を考えたり、期間をまとめて工事を行ってほしい。	3年計画で実施するとの地元説明会であったが、工事に着手したときに固い岩盤が出てきたことも影響している。工事中に想定外のこともあり理解してほしい。	
質問	若い方を呼び込んでくる施策をしているのか。	人口減少対策に対する方針を決定した。出生率も下がり緊急課題として取り組んでいる。企業誘致で新しい企業がきても、従事する人がいないのが大きな課題となっている。	
要望	融雪剤の設置場所を、地元の人と協議して設置してほしい。市が設置場所を決めているのか。	地域の中で協議し、市に要望として上げてほしい。	
質問	補助金をいただいて活動しているが、年々補助金の額が減ってきている。今後どうなるのか。	各地域の地域づくり委員会と意見交換を検討している(4月予定) 落合は、1,000万円ぐらい出ている全体では3,400万円の支出である。	
要望	鳥獣被害、特にサルの被害が多発しているが市として対策を考えているのか。	猟友会に依頼はするが、サルを撃つ人が非常に少ない。議会としても市内全域から被害を聞いている。早急な対策が必要である。	後日回答する (鳥獣関係補助金の額)




発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	液肥の事業について、液肥施設の建設候補地を公募されているがどうなったか。	1月末までが募集期間であり、現在はまだはっきりしていない。	
要望	醍醐桜の観光振興について、今後の市の協力体制としてどうしてくれるのか。	市としては、地域振興主管を各振興局に配置している。観光振興や保存等をしている職員もいるので相談してほしい。	
質問	少子高齢社会の中で、老人ホームが足りなくなるのではないか。入居までの期間はどれくらいか。	真庭市だけで解決する問題ではなく、県や国も含めて考えていく課題である。住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指して努力する。	後日回答する (入居までの期間)
質問	ささえあいディサービスを地域で立ち上げたいと思っているが、真庭市全体で取り組みをされているところがあるのか。	市内で、取り組みをされている地域については数字を把握していないので確認する。	後日回答する (取り組んでいる地域の数)
意見	元気を出そうにも出せないところにも細やかな取り組みがあっても良いと思う(補助金)	一律に補助金を減らすという問題ではない。内容によってしっかり精査していきます。	

※報告会の状況写真を別途添付。

平成30年3月20日

真庭市議会議員 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 古南 源二 

開催日時	平成30年1月27日(日) 19:00 ~ 20:30		
開催学区名	川上小学校区		
会場名	川上コミュニティセンター		
出席議員	班長: 古南 源二 副班長: 中元 唯資		
	班員: 河部 辰夫 築澤 敏夫 緒形 尚 谷本 彰良		
参加人数	14人 (うち議員 6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	農業政策が大きく変わる、特に川上の場合は、ソバ、牧草、大根など色々な減反作物があるが、これらに対する補助金はどうか	この問題は、展開次第でどのようになるかわかりませんが変化があれば皆様方に情報をお伝えしたい	
意見	道路整備については、小さい穴が大きくなることもあるが、委員会報告の説明には入っているのか	小さいデコボコに関しては振興局が迅速に対応しています	
意見	少子高齢化で色々な仕組みをシンプルにしていく必要があるが、自主防災組織はシンプル化に逆行していないか	負担にならない程度の防災組織的なことをやっていきたい	
申入	岡山酪農組合蒜山基地あるいは事務所というような立て看板を立てさせて頂けると非常に助かります	振興局で経緯を確認して、適切に判断してもらいます	
意見	除雪作業時の、スノーボールが少なくなっている、特に道路の壊れているところも見かける	春になりましたら道路を点検して、良い方策をとります	
意見	蒜山には高速バスが止まらない 登山ガイドの足を確保して欲しい	意見交換をした	
質問	除雪費用には交付税が出ていますが100%か	指定路線は100%、その他の路線は市の負担金が必要	
意見	観光にしても農業にしても、まとめ役がいないので何とかお願いしたい	蒜山の人に期待しているのでは是非頑張ってくださいと伝えました	
意見	夏祭りやイベントなど、費用対効果の傾向が強くなっている	昔は全部手作り。合併当初、特例債50億を使ったが、これは段階的に切られる	

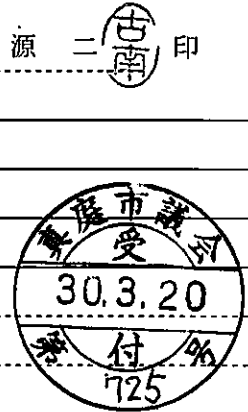
※報告会の状況写真を別途添付。

平成30年3月20日

真庭市議会議長 長尾 修 様

平成29年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 古南源二 印



開催日時	平成30年1月28日(日) 14:00 ~ 16:00		
開催学区名	余野小学校区		
会場名	高仙の里よの・なつつばき		
出席議員	班長: 古南源二 副班長: 中元唯資		
	班員: 緒形尚 河部辰夫 谷本彰良 築澤敏夫		
参加人数	23人 (うち議員 6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	遷喬小学校から久世こども園に、給食を配食すると聞いているが、学校が休みの土曜日とか給食はどうするのか。	平日については、遷喬小学校からの配食になる。土曜日については、小学校が休みになるので天の川こども園からの配食になる。	
質問	小学校の児童の人数を15人と聞いたが、議員は何とも思わないのか。	議員も地域の声をしっかりと聞き、執行部ともやりとりがあって実施に向かう。	
質問	学校統合の基準は何ですか。	学校編成基準が国で決まっている。真庭市では、極小規模校を一学年に1名未満の学年がある学校で、小規模校は複式学級がある学校で、中学校は一学年の生徒が概ね10名の学校としている。	
質問	給食統合の時、お金がかかっているとの説明があったが、統合でこれだけお金が節約できた等の説明はない。議会にはしているのか。	統合によって、これだけ節約できたという数字は上がってきていないが、建物の維持管理費等がいらなくなる。	
質問	お金が大事なのか。人数は少なくともその地域の中で育てていくことが大事なのか。	何が子どもたちにとっての教育環境なのかを考えることが大事だと思う。お金(経費等)も大事だと思う。	
質問	学校の先生は、ほとんどが県費で人件費については、真庭市はお金を出していない。	学校の先生は県費であるが、市費の先生(校務員、調理員等)もいる。約80%が県費の先生で約20%が市費の先生である。	
質問	放課後児童クラブが各地域で必要になってきているが、どうして放課後児童クラブが学校と切り離れているのか。	放課後児童クラブの担当は、子育て支援課で教育委員会ではないが、教育委員会ともしっかり連携している。	
要望	水道管を埋設している農道を、市道に格上げしてもらいたいと市に相談したが、お金がないからダメだと言われた。	充分調べて申し入れをする。	産業建設常任委員会で調査研究を要する。
意見	学校統合の話が出ているが、統合すると過疎の地域がより過疎になる。一年でも遅く進めてほしい。		
意見	真庭市の職員も議員も、今以上に仕事をしてもらいたい。		

発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
意見	学校統合について、人数が減ったから統合ではなく、どうやって存続できるかを考えてほしい。		
意見	大きな学校にできて小さな学校にできないことよりも、小さい学校にできて大きい学校にできないことの方が多いと思う。		
意見	低学年から高学年までが一緒になって、一つのことをやることの中で、その学年だけでなく上下の関係が良く、誰もが仲間であるということが一番大きい。下の子の面倒も見れるという繋がりがある。		
意見	学校整備計画の説明があったと思いますが、全国的に統廃合問題についてあまりのおかしな行動が起きているということで、文部科学省から通達が出ている。平成27年だったと思う。地元の意見を取り入れていただき、本当に大事なものは何かということを議会の方も考えてほしい。		
意見	全地域に人が残ってくれるように、議会の方でもしっかり考えてほしい。教育委員会とも給食問題の時に出ましたが、地域が考えて地域から声を出してくださいというような言い方をされる。それも大切だと思いますが、議会として中心部以外のところに人が増えるようないろいろな施策や取り組みを考えてほしい。		

※報告会の状況写真を別途添付。